

【人と業績】

三宅義子先生 著作リスト

単著

「『砂を噛んでも、職場を守るんや』 —— 大阪・矢賀製作所を自主管理する女たち」  
『朝日ジャーナル』 20(18)、1978年5月5日、92～95頁

「姿見にうつして」家族史研究会編集発行『女性史研究』第6集（特集・「母権論」のために）、1978年6月、1頁

「家族の位置 —— フェミニズムとマルクス主義（女性学入門〈主題〉）」『思想の科学』第7次(5)、15～21頁、1981年7月

「山代巴さんに聞く 歴史を負って現在にたちむかう」『季刊女子教育もんだい』8、1981年8月、74～83頁

「資料 家族の位置 —— フェミニズムとマルクス主義」『季刊女子教育もんだい』9、1981年11月、36～42頁

「溝上泰子さんに聞く 人間の根は家族のなかでつちかわれる」『季刊女子教育もんだい』11、1982年6月、74～85頁

「高橋喜久江さんに聞く 売春問題は女性解放の原点である」『季刊女子教育もんだい』12、1982年8月、81～90頁

「加藤シヅエさんに聞く 母性 ―― それは選びとるもの」『季刊女子教育もんだい』  
15、1983年5月、87～98頁

"Women, Work, Family, and the State in Japan, 1868-1990: Rewriting Modern Japanese Social History from a Feminist Perspective." Ph.D. diss., University of California, Santa Cruz, 1991.

'Doubling Expectations: Motherhood And Women's Factory Work Under State Management in the 1930s and 1940s,' in "Recreating Japanese Women, 1600-1945", ed. Gail L. Bernstein, Los Angeles, University of California Press, 1991.

「一九五〇年代アメリカ・マッカーシズム・女性 ―― 丸山真男の同時代ファシズム観」『神奈川大学評論』26（神奈川大学広報委員会）、1997年3月21日、63～75頁

「歴史をジェンダーで読む(18) 高良とみ再評価へ ―― 著作集編者・高良留美子さんに聞く」『女も男も』(97)、2003年、43～47頁

『女性学の再創造』ドメス出版、2002年



「バース・コントロールの思想 ―― 性と生殖の自由をもとめて」（奥田暁子他編『概説フェミニズム思想史 ―― 明日にむかって学ぶ歴史』ミネルヴァ書房、2003年）、126～147頁

「今なぜ、『女性学の再創造』なのか： 第23回山川菊栄賞を受賞して」『學術の動向』9(8)、  
2004年、92～93頁

「山川菊栄賞受賞記念スピーチ 今なぜ「女性学の再創造」なのか」『社会主義』(499)、  
2004年5月、67～75頁

「〇三年度山川菊栄記念婦人問題研究奨励金受賞記念スピーチ(『社会主義』2004年)  
五月号掲載) 三宅義子「今なぜ『女性学の再創造』なのか」を受けて —— スピーチを  
受けての質疑討論から」『社会主義』(502)、2004年8月、101～115頁

「明治期労働運動における男性労働者像の構築(マスキュリニティ／男性性の歴史) ——  
—— (近代日本においてマスキュリニティ／男性性はどう語られたか)『現代のエスプリ』  
(446)、2004年9月、195～204頁

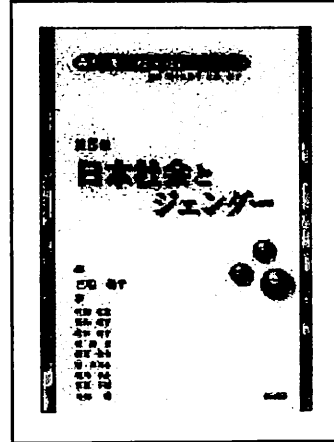
「思い出 歴史家ミリアム・シルバーバーグ —— 出会いと「再会」(追悼 ミリアム・  
シルバーバーグ)」『アジア現代女性史』(5)、2009年、16～20頁

『政治とジェンダーのあいだ』ドメス出版、2014年



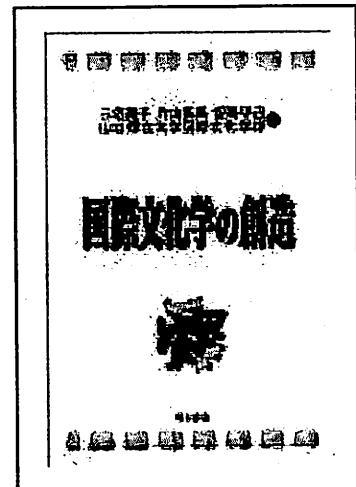
共著・編集・解説

三宅義子編『日本社会とジェンダー (叢書現代の経済・社会とジェンダー 第3巻)』、  
明石書店、2001年



渡辺克義編著・訳『地域から世界へ —— 異文化へのまなざし』山口新聞 2001年

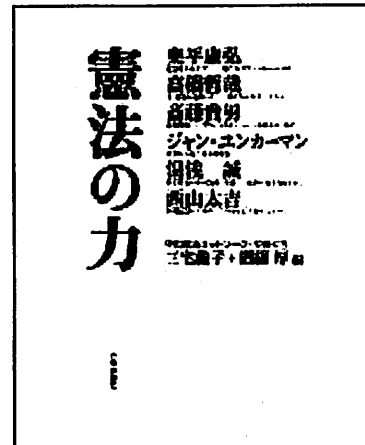
三宅義子 ほか編『国際文化学の創造』明石書店、2002年



三宅義子編『女性のみた近代 第2期別巻1 アンソロジー 女と労働』ゆまに書房、  
2005年

三宅義子(研究代表者)『基地と岩国市民』(科研研究成果報告書)2011年3月

三宅義子・額瀨厚編『憲法の力』日本評論社、2013年



翻訳

エブリン・リード著 三宅義子・大原紀美子訳『性の神話 —— 女性解放の諸問題』柘植書房、1974年

三宅義子編集・翻訳『リベレーション ナウ —— アメリカ女性解放運動の主張』柘植書房、1976年

シーラ・ローバトム著 三宅義子訳『女の意識・男の世界』ドメス出版、1977年

シモーヌ・ド・ボーボワール／ジョン・ジェラシー著 三宅義子翻訳・解説「究極の女性解放とは何か —— 『第二の性』から25年後の視点 —— ボーボワールは語る」『朝日ジャーナル』19(33)、1977年8月12日、108～120頁

Dorman William A., Farhang Mansour [著] 三宅義子訳「アメリカのイラン報道はなぜ間違っていたか」『朝日ジャーナル』21(14)、1979年4月13日、34～39頁

ヴィクター・S・ナヴァスキー著／三宅義子訳『ハリウッドの密告者：1950年代アメリカの異端審問』論創社、2008年



(作成 藤目ゆき)

山口県立大学で行われた最終講義

「『女性学の再創造』と『ハリウッドの密告者』のあいだ」

